

読書推進・家庭連携部

読書につながる「読む力」を育成する読書単元

読む力の向上につながる読書活動

読書活動を充実させることは、児童に「言語理解力」「語彙力」「想像力」「探求心」「表現力」など様々な力をつけることができる。また、豊かな心の育成を図り、心の成長にも欠かすことができない。身についた力は日常生活や各教科等で生きた国語力として働かせることができる。



ブックトークで始まる授業

- ・文章表現や叙述に着目した授業
- ・物語の続きを書くなど「書くこと」を重視した授業
- ・単元の導入や結末でのブックトーク
- ・並行読書
- ・単元の学習に関わる図書の準備
- ・図書館での授業や図書館を必要とする授業など

自ら進んで本に手を伸ばす児童の育成

読書生活を広げる

「読む力」を生かすとともに、読書や読書活動に対する意欲付けを図り、読書の日常化を図ることを重視する手立てを工夫する。

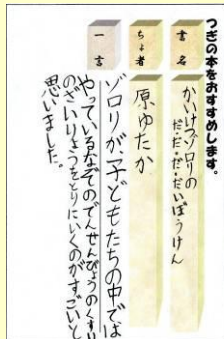
○読書の木

一人一人が読書記録カードを持ち、読んだ本の題名を記録する。各学級に掲示してある「読書の木」に読んだ冊数分のシールを貼り、読書に対する意欲の向上を図る。



○読書郵便

児童が読んだ本の中から校長先生にお薦めしたい本を紹介する。校長室前にポストを設置し、紹介したい本の題名、内容を記入して投函すると、校長先生からお便りが担任を通じて届く。校長先生との本を通じた交流で、本への興味・関心が高まってくる。



○「先生お薦めの本」コーナー

児童に読んで欲しい本を図書室にコーナーを設置して紹介をする。お薦めの理由を書いて飾ることで、本への関心を高め、読書意欲の向上を図る。



○読書標語

全校児童が読書のよさや楽しさを表した「読書標語」を作成する。各学級に日めくり標語として常時掲示をし、読書活動が充実したものになるようにする。



○お薦めの本の紹介

夏季休業中に会った本や心に残った本を親子で紹介する。「お薦めの本の紹介」だけでなく、実際に図書室の蔵書として購入するなど、図書の充実とともに紹介してよかったという満足感を味わう工夫としている。

わたしのおすすめ1さつ

著者(本の名前) ジャガイモ ポテトくわ
 著者名 長谷川義史 出版社 小学館

ひとこと感想(おすすめ理由)
 ふだんなにげなく食べている(買っている)野菜の物語です。とくに面白くて可愛くておすすめです。ジャガイモ一家が八百屋で売られて、それぞれの家族に買われて、ジャガイモ一家はバラバラに。でもおいしい話が思ったら、ラストで全員再会! その再会として家族で読むのはもちろんですが、食べることも大好き、食べ物の(野菜)のありがたさも勉強できるのでとてもいい本です。

児童名 / 筆 鑑
 名前 保護者名

わたしのおすすめ1さつ

著者(本の名前) エルマーと16匹のひよこ
 著者名 ブースタリス 出版社 ぶんか舎書店

ひとこと感想(おすすめ理由)
 この本は黄色と赤のしましまの金色の羽と赤い足の本鳥とひよこの話です。ボリスは家族と離れてはなれなけれど家族と会えよかったです。

児童名 / 筆 鑑
 名前 保護者名

わたしのおすすめ1さつ

著者(本の名前) かまどの
 著者名 よしなかつゆり 出版社 あかねぼんぼ

ひとこと感想(おすすめ理由)
 ようかいがたまがおちたりあかたりとあもしろかたからおすすめです。

児童名 / 筆 鑑
 名前 保護者名

学校の読書と家庭の読書を結ぶ

○親子読書

親子で同じ本を一緒に読む。子どもが親に本を読んで聞かせるなど、親子での読書タイムをもたせる取組を進める。読んだ本は記録し、親子読書の記録として積み上げる。啓発資料「夏休み親子読書のすすめ」が「わたしのおすすめ1さつ」に結びついている。

○親子読書標語

親子で読書するよさや楽しさを標語として募集する。作品は本の広場に掲示され、啓発資料となっている。

○図書館だより

学校での読書活動の様子、本の紹介、読み聞かせの公開、読み聞かせの研修会の案内など、保護者へ読書活動の推進について定期的に発行している。



読書生活を確かなものに

○ボランティアによる読み聞かせ

毎週月曜日の朝の時間（おはなし宅配便）、毎週水曜日の昼休み（おはなしレストラン）に、図書ボランティア（おはなしの森、庄和おはなし会、校長、教頭をはじめとする教職員）による読み聞かせの活動を定期的に行っている。図書室の本、拡大絵本、紙芝居、素話、ブックトークなど様々な手法で読み聞かせ活動を行い、読書好きの児童を増やしている。「おはなしの森」は、川辺小学校の児童の保護者や卒業生の保護者によって構成されているボランティア団体として活動している。

○担任による読み聞かせ

月に1度の計画で、火曜日の朝の時間に担任による読み聞かせを行っている。児童の実態を十分把握し、学級に応じた本を選定して取り組んでいる。聞き方も児童の発達段階に応じて工夫している。また、職員室に、読み聞かせにふさわしい本を常設し、読み聞かせの充実を図っている。



○図書委員による読み聞かせ

図書ボランティアと協力して図書委員が読み聞かせに取り組んでいる。学年に応じた本の選定や読み方など事前に準備をして活動している。異年齢の児童に伝えることで相手に対する思いやりの心も育っている。

○家庭学習の手びき

学習習慣の定着化を図るために、家庭学習の仕方や内容について具体的に示した手引きを作成している。この手引きを活用し、学習を家庭につなげるとともに、読書や文字に触れるなどの連携を図りながら児童の学力の定着を図っている。

家庭学習のすすめ

学ぶことは、今のあなたを成長させ、明日のあなたに豊かな可能性を与えてくれます。
学ぶことは、あなたの夢を実現するための第一歩なのです。

家庭学習の仕方を身につけよう

- ①家庭でも繰り返し学習することが大切
・学校で学習したことを家庭で復習することにより、学校で習ったことを深く学びます。また、できることが自信につながるります。
・「くりかえし」「繰り返し」を学ぶことが大切です。
- ②脳を鍛えることが大切
・脳も筋肉と同じで、鍛えれば鍛えれば強くなるという理屈です。読み書き、計算などの反復練習を続けることにより、脳が活性化します。
- ③毎日続けることが大切
・毎日続けることで、自ら進んで学習する習慣が身につきます。家庭学習が当たり前の学習習慣になります。

二年生のみなさん

いそいで、楽しくする、しゅかんを身につけよう
10分～30分

- しゅかんをよくしてすわりますよう
- まんげつが、たごしくもちますよう
- みのまわりの、せいりせいとんを、しますよう
- れんらくちようをみて、あしたの、じゆんびを、しますよう

家庭学習の内容

- 書道
- しゅくだい
- くりかえし、れんしゆ
- けいさん・かん字など
- ししや（きょうかしよを、ノートにうつす）
- どくしよ
- 日記

四年生のみなさん

一人で学習に取り組む、習慣を身につけよう
30分～50分

- 毎日決めた時間に、決めた場所で、集中して学習しましょう。
- 分からないときは、そのままにせず、辞書などで調べましょう。
- 「日学習ノート」を用意して取り組もう。
- 身の回りを整理して学習環境を整えましょう。
- 明日の授業の準備をしっかりとしよう。

家庭学習の内容

- 音読 □暗算
- 学校で習ったことの復習
- 繰り返し練習（計算・漢字・ローマ字など）
- 意味読べ（辞書を使って）
- 読書 □日記

保護者の方へ

手を離して目をかけよう

- 決まった場所で、決まった時間に学習させてください。
- 集中する環境を「ながら」ではなく、学習する環境を付けてください。
- 目の奥くまみで取り組ませてください。
- 復習ノートなどは、必ずサインをしてあげてください。
- うまくできていない際でも、少し集中してアドバイスをあげましょう。
- がんばりを褒め励ましてあげてください。

六年生のみなさん

自主学習ができる習慣を身につけよう
50分～70分

- 毎日決めた時間に、決めた場所で、集中して学習しましょう。「ながら勉強」はやめましょう。
- 苦手な問題をもう一度取り組むなど、今日学習したことを復習しましょう。
- 「日学習ノート」を用意しよう。
- 明日の授業の準備をしっかりとしよう。

家庭学習の内容

- 音読 □暗算
- 学校で習ったことの復習
- 繰り返し練習（計算・漢字など）
- 意味読べ（辞書を使って）
- 読書
- 作文（日記・短歌・俳句・新聞記事を読んだ感想など）
- 様々な工夫した取組

保護者の方へ

手と目を離れたしても心を離さない

- 決まった場所で、決まった時間に学習させてください。
- 集中する環境を「ながら」ではない、学習する環境を付けてください。
- 家庭学習をしたかどうかチェックをしてください。
- 復習ノートなどは、必ずサインをしてあげてください。
- 「さすがだね」「すばらしいね」などの励める言葉をかけてあげてください。